

西公民館

遊びゲーシヨン 開催

11月2日(土)、松前公園体育館アリーナで松前校区の幼児、小・中学生を対象としたゲーム大会「遊びゲーシヨン」を開催しました。

遊びの天才をご紹介します。

低学年の部(幼〜二年生)

- 1位 やましただいすけさん
- 2位 みずのゆきさん
- 3位 ささきまおさん
- 4位 あのみとさん
- 5位 みやうちゆうじさん
- 6位 浅海弘夢さん
- 7位 中野 諒さん

中学年の部(三〜四年生)

- 1位 藤久義幸さん
- 2位 佐々木翼さん
- 3位 前田謙伍さん
- 4位 谷本幸子さん
- 5位 沖野裕司さん
- 6位 永見 優さん

高学年の部(五年〜中学生)

- 1位 築地彩乃さん
- 2位 山下翔子さん
- 3位 松田 惟さん
- 4位 金本尚樹さん
- 5位 笹山義貴さん
- 6位 渡邊 栞さん
- 7位 和田拓也さん

楽しく遊べる(と)って、とっ



▲さあ、何本立てられるか！
1分間の真剣勝負
(1分間鉛筆立て)

でも大切ですよ。遊びゲーシヨンの参加者の声を聞いてみましょう。

楽しかった遊びゲーシヨン

松前小三年 谷本幸子

わたしは、11月2日(土)、遊びゲーシヨンへ行きました。遊びは、豆つまみ、長ぐつとばし、わりばしダーツ、紙ひこうきなどがありました。その中で、わたしが心にのこった遊びは、長ぐつとばしと豆つまみ、わりばしダーツです。長ぐつとばしでは、15メートルとびました。豆つまみの1回目は17こ、2回目は24ことれました。

わりばしダーツは、10本中4本はいりました。紙ひこうきの1回目は10メートルとんで、2回目は9メートルとびました。

さいしよは、紙ひこうきで、ひこうきをなんまいもなんま

いもつくりました。長ぐつとばしは10メートル

はこしたいなと思って、おもいつきりばしたら、15メートルのせんがぎりぎりでした。10メートルがすぎてよかったです。

豆つまみでは、はしをもつのがあまりとくいじゃないから、さいこうが10こぐらいかなと思っただけで、17これてよかったです。2回目は24こもとれるとは思いませんでした。

わたしは2人の友だちといっしょに行きましたが、他にもいろいろな人がきていました。

わたしは合計が88点で、まさか1位から7位までに入っているとは思いませんでした。その中でわたしは4位でした。みんなの前に立つとちよつとさんちようしました。しようじようとしようひんをもらってせきにかえて、しようひんをあけてみたら、カラフルな色のペンとけしごむ、シャーパーン、ボールペンが入っていました。おわったら、おかしをさんかしようでもらいました。あとで松前公園で友だちとおかしをこうかんしました。4位になっていてほんとうにうれしかったです。4年生になってもがんばってみたいです。

ふるさとをたずねて

出作の五輪塔群(Ⅱ)

文化財保護審議会委員

中村文雄

近隣の五輪塔群・塚・祠・藪神などは、それにふさわしい伝承を持って今日まで引き継がれ保存をされている。

しかし、中にはその処置方法の選択肢に消滅廃棄を選んだ所もある。消滅することには、土地の開発利用転用などにあたって、その土地の価値が著しく高騰することは紛れも無い事実である。

例えば、伊予市上野の荒神屋敷(伊予神社の南隣、古戦場跡)での圃場整理の際には300基以上の塚や祠が消滅廃棄されようとした。ところが不思議な現象が生じるので、地主一同が生活道路に面した適地を選び、そこに現在は約100体程を祀っている。

そして年に2回、僧侶による供養には関係者が30人以上も参加することである。また、重信町別府(仙幸寺、一遍上人ゆかりの寺跡)の五輪塔群にはおよそ百年程前に、付近に散らばっていたのを一所に集めて供養を始めて今日に至ると言われている。

通称「オタッチサン」
※塔頭(塔中) タッチユウタッチ



▲出作の五輪塔群
シキビや供え物が絶えない



▲地域住民を守る石造群
田畑の隅から生活道路面に移転



▼▲仙幸寺の「オタッチサン」
自ら襟を正す周囲の環境

